

## 【参考資料12】

### 2023年度講評論文一覧

	教員氏名	部署(学科)	職名	名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者、発表者
1	小林憲生	共通教育科	教授	Japanese Supralittoral hydrophilid Beetles (Coleoptera, Hydrophilidae) in the Ehime University Museum Insect Collection, Matsuyama, Japan.	共著	あり		Elytra, Tokyo (n. s.) 13(1): 1-3.	ÔHARA, M., N. KOBAYASHI, & I. N. DELA CRUZ.
2	小林憲生	共通教育科	教授	Japanese Supralittoral Tenebrionid Beetles (Coleoptera, Tenebrionidae) in the Ehime University Museum Insect Collection.	共著	あり		Elytra, Tokyo (n. s.) 13(2): 315-320.	ÔHARA, M., N. KOBAYASHI, I. N. DELA CRUZ, & K. ANDO
3	東 宏行	共通教育科	教授	不登校の子どもの支援 -なぜ不登校は増えつづけるのか	単著	なし		「指導と評価」vol.70-1, No.830, 図書文化社, pp.24-26 ISSN : 0288-299X	東宏行
4	東 宏行	共通教育科	教授	学校臨床教育制度としての「居場所」 —不登校児童生徒の「居場所」の制度化・多様化・関係形成—	単著	なし		「子ども・教職研究」第7巻, 埼玉県立大学教職科目担当者会「子ども・教職研究」編集委員会, pp.41-50 ISSN : 2434-8139	東宏行
5	上原 美子	共通教育科	教授	特別支援学校の看護教員・学校看護師の活動と学校行政にける連携機能について	共著	あり		子ども・教職研究第7巻	佐藤玲子,関美雪, 上原美子, 山本智春
6	飯島博之	共通教育科	教授	形態論的気づきとブレンドラーニングを用いた医学用語指導に対する日本人EFL学習者の認識	単著	あり		上越英語研究 ; 第19号 ; P1-14	飯島博之
7	金野 倫子	共通教育科	教授	Differences in psychosocial factors and sleep study findings between delayed sleep-wake phase disorder and hypersomnia in teenagers	共著	あり	○	Sleep and Biological Rhythms; (21) ; P241-247	Yayumi Kamiyama, Yoshiyuki Kaneko, Kaori Saitoh, Ryuji Furihata, Michiko Konno, Makoto Uchiyama, Masahiro Suzuki
8	金野 倫子	共通教育科	教授	Displaced center of pressure on the treated side in individuals with essential tremor after radiofrequency ablation: a longitudinal case-control study	共著	あり	○	Flontiers in Neurology; 29:14:1182082	Atsuya Sato, Takaomi Taira, Kazuya Kitada, Toshiaki Ando, Toyohiro Hamaguchi, Michiko Konno, Yoshinori Kitabatake, Toshiyuki Ishioka
9	竹島太郎	共通教育科	教授	Differences in attitude toward COVID-19 based on internet and social media usage among community-dwelling older adults during the first state of emergency	共著	あり	○	Geriatr Gerontol Int. 23(4):289-296	Takayama A, Takeshima T, Omae K, Yoshioka T, Nakagawa H, Ozaka A, Naganuma T, Takahashi S, Hamaguchi S, Fukuhara S; Sukagawa Study Group
10	竹島太郎	共通教育科	教授	Association Between Paid Work and Health-Related Quality of Life Among Community-Dwelling Older Adults: The Sukagawa Study	共著	あり	○	J Appl Gerontol. 42(5):1056-1067	Takayama A, Takeshima T, Omae K, Yoshioka T, Nakagawa H, Ozaka A, Takahashi S, Naganuma T, Hamaguchi S, Fukuhara S; Sukagawa Study Group
11	竹島太郎	共通教育科	教授	Social Isolation/Loneliness and Tooth Loss in Community-Dwelling Older Adults: The Sukagawa Study	共著	あり	○	Innov Aging. 26:7(6)	Takahashi S, Naganuma T, Kurita N, Omae K, Ohnishi T, Yoshioka T, Ito F, Takeshima T, Fukuma S, Hamaguchi S, Fukuhara S; Sukagawa Study Group
12	竹島太郎	共通教育科	教授	Poor Sleep Quality as a Risk Factor for Constipation Among Community-Dwelling Older Adults in Japan	共著	あり	○	Cureus. 29:15(9)	Nakagawa H, Takeshima T, Ozaka A, Sasaki S, Kurita N, Hamaguchi S, Fukuhara S
13	竹島太郎	共通教育科	教授	Poor Social Functioning: A Potentially Modifiable Risk Factor for Pneumonia in the Elderly.	共著	あり	○	Cureus. 23:15(10)	Hamaguchi S, Sasaki S, Shimizu S, Yamazaki H, Yamamoto R, Ozaka A, Nakagawa H, Takeshima T, Green J, Fukuhara S
14	高柳 雅朗	共通教育科	准教授	食道・胃・十二指腸の学習教材ペーパークラフト -医療従事者をめざす学生のための実物大の解剖学の学習教材-	共著	あり		日本メディカルイラストレーション学会雑誌, 5, 26-32	高柳雅朗、野崎真奈美、篠原理恵
15	浅川泰宏	共通教育科	准教授	「もしも」の時の医療・ケアにおける話し合い行動意図尺度 : Web調査による信頼性と妥当性の検討	共著	あり		Palliative Care Research 18巻4号, pp.213-223	山口乃生子, 山岸直子, 會田みゆき, 畔上光代, 河村ちひろ, 星野純子, 浅川泰宏, 佐瀬恵理子, 島田千穂
16	武久智一	共通教育科	准教授	Silently Structured Silent Argument By Yuta Sakamoto, John Benjamins, Amsterdam, 2020, xiv+266pp.	単著	あり		English Linguistics, 39(2), 293-305	Tomokazu Takehisa
17	山田恵子	共通教育科	准教授	「医療情報をわかりやすく発信するプロジェクト」の活動について	共著	なし		レギュラトリーサイエンス, 54(6) 548-551	山田恵子, 井出博生, 早川雅代
18	山田恵子	共通教育科	准教授	ロコモにおける性差	単著	なし		整形・災害外科, 66(13) 1581-1591	山田恵子
19	山田恵子	共通教育科	准教授	栄養と運動の観点から健康増進に必要な保健医療情報を考えるシンポジウムの活動報告	共著	あり		医療情報学, 42(6)	青木 美和, 山田 恵子, 久野 譜也, 平井 啓, 佐々木 敏, 等々力 英美
20	小松 睦美	共通教育科	准教授	Infrared absorption spectra from organic matter in the asteroid Ryugu samples: Some unique properties compared to unheated carbonaceous chondrites	共著	あり	○	Meteoritics & Planetary Science, no.14064.	Kebukawa Y. + 58 authors (Komatsu M. as 18th)

# 【参考資料12】

## 2023年度講評論文一覧

	教員氏名	部署(学科)	職名	名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始 - 終了ページ	著者、編者、発表者
21	小松 睦美	共通教育科	准教授	Compositional heterogeneity of insoluble organic matter extracted from asteroid Ryugu samples	共著	あり	○	Meteoritics & Planetary Science, no.14097.	Quirico E. + 62 authors (Komatsu M. as 23th)
22	小松 睦美	共通教育科	准教授	The thermal history of Ryugu based on Raman characterization of Hayabusa2 samples	共著	あり	○	Icarus, Vol. 408, no.115826.	Bonal L. + 57authors (Komatsu M. as 4 th)
23	小松 睦美	共通教育科	准教授	Electron microscopy observations of the diversity of Ryugu organic matter and its relationship to minerals at the micro - to nano - scale	共著	あり	○	Meteoritics & Planetary Science, no.14128.	Stroud R. + 112 authors (Komatsu M. as 49th)
24	小松 睦美	共通教育科	准教授	AFM-IR nanospectroscopy of nanoglobule-like particles in Ryugu samples returned by the Hayabusa2 mission	共著	あり	○	Astronomy and Astrophysics, no.202347435	Mathurin J. + 63 authors (Komatsu M. as 20th)
25	小松 睦美	共通教育科	准教授	太陽の子・鹿の母「Phaethon」をフライバイ!その1～深宇宙探査技術実証機デスティニー・プラスの計画概要とサイエンス	共著	あり	○	日本惑星科学会誌 Vol.33, No.1, p34-50.	荒井朋子ら + 55 著者 (小松睦美;第37著者)
26	森村 繁晴	共通教育科	教授	初年次教育における協働学習の機会が学習成果に与える影響：テキストマイニングによる可視化の試み	共著	あり		関係性の教育学会『関係性の教育学』22巻1号(pp.57-70)	今西ひとみ、森村繁晴
27	森村 繁晴	共通教育科	教授	NFRJ18における調査票の検討過程：調査項目の提案から成果報告まで	共著	なし		日本家族社会学会『家族社会学研究』35巻2号(pp.171-178)	西野勇人、永瀬圭、森村繁晴
28	滑川 進人	共通教育科 保健センター	教授・ センター長	Achievement of adequate nutrition contributes to maintaing the skeletal muscle area in patients with sepsis undergoing early mobilization: a retrospective observational study	共著	あり	○	BMC Nutrition 2024;10:32	Abe R, Shimazui T, Sugo M, Ogawa A, Namekawa M, Kitamura N, Kido S
29	國澤尚子	看護学科	教授	連携した認知症ケアの推進者を育成する研修プログラムの評価	共著	あり		日本認知症ケア学会誌,22(4),686-695	丸山優、畔上光代、國澤尚子、中込沙織、大塚眞理子
30	高橋 恵子	看護学科	教授	Assessment Scale educational Materials For People-Centered Care in the community Partnerships Between Community People and Healthcare Professionals	共著	なし		「New GNWHOCCNM LINKS Magazine」34-35	Keiko Takahashi ,Erika Ota
31	青森 広美	看護学科	准教授	病院に勤務する看護師の倫理的行動・非倫理的行動	共著	あり		日本健康医学会雑誌32(4)、443-452	青森広美、平野裕子、鈴木英子
32	山口(西田)乃生子	看護学科	教授	Experts' perspectives and practices in end-of-life care: A qualitative study on bioethics and human rights regarding older patients' autonomy (英文)	共著	あり		日本能力開発推進協会論文集, (1):53-83	Eriko Sase, Nobuko Yamaguchi
33	山口(西田)乃生子	看護学科	教授	「もしも」のときの医療・ケアにおける話し合い行動意図尺度：Web 調査による信頼性と妥当性の検討	共著	あり		Palliative Care Research, 18(4): 213-223	山口乃生子, 山岸 直子, 會田みゆき, 畔上 光代, 河村ちひろ, 星野 純子, 浅川 泰宏, 佐瀬恵理子, 島田 千穂
34	會田 みゆき	看護学科	准教授	「もしも」の時の医療・ケアにおける話し合い行動意図尺度：Web調査による信頼性と妥当性の検討	共著	あり	○	Palliative Care Research, 18(4)、213-223	山口乃生子, 山岸直子、會田みゆき、畔上光代、河村ちひろ、星野純子、浅川泰宏、佐瀬恵理子、島田千穂
35	山岸直子	看護学科	准教授	独居の高齢糖尿病患者の運動療法の自己管理の取り組みと関連する要因	共著	あり		日本糖尿病教育・看護学会誌、27(2) 11-24	山岸直子, 勝野とわ子
36	山岸直子	看護学科	准教授	「もしも」のときの医療・ケアにおける話し合い行動意図尺度：Web調査による信頼性と妥当性の検討	共著	なし		Palliative Care Research, 18(4) 213-223	山口 乃生子, 山岸 直子, 會田 みゆき, 畔上 光代, 河村 ちひろ, 星野 純子, 浅川 泰宏, 佐瀬 恵理子, 島田 千穂
37	平野裕子	看護学科	准教授	病院に勤務する看護職の倫理的行動・非倫理的行動 先行文献からの抽出	共著	あり		日本健康医学会雑誌:32(4): P443-452	青森 広美, 平野 裕子, 鈴木 英子
38	大場良子	看護学科	准教授	婦人科がん体験者における女性性の危機と再適応過程に関する心理学的研究	単著	あり		筑波大学博士論文	中澤(大場) 良子
39	宮部 明美	看護学科	助教	Development of the ward nurses' discharge-oriented dietary support scale for older adult patients in Japan	共著	あり	○	Japan Journal of Nursing Science 20(4), e12541	Akemi Miyabe, Mana Doi, Yuka Kanoya
40	善生 まり子	看護学科	教授	看護師・准看護師・看護補助者の連携・協働の課題と展望	単著	なし		Nursing BUSINESS、17(10)、888-893	善生まり子
41	善生 まり子	看護学科	教授	看護補助者を魅力ある職業とするための方策 - A法人看護補助者アンケート調査報告 -	共著	あり		全日本病院協会雑誌、34(1)、255-259	真々田美穂、善生まり子、林勝枝、横山幸子
42	丸山優	看護学科	准教授	連携した認知症ケアの推進者を育成する研修プログラムの評価	共著	あり		日本認知症ケア学会誌、22(4)、686-695	丸山優、畔上光代、國澤尚子、中込沙織、大塚眞理子
43	横山 由美	看護学科	教授	生体肝移植をうけた子どもの療養行動に対する母親の関わりのプロセス 普通でなさを感じながら育てる	共著	あり		自治医科大学ジャーナル,20,33-41	飯島早絵,横山由美

## 【参考資料12】

### 2023年度講評論文一覧

	教員氏名	部署(学科)	職名	名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者、発表者
44	横山 由美	看護学科	教授	小児救急外来での子育て支援の検討	共著	あり		自治医科大学ジャーナル,20,25-32	小西克恵,横山由美
45	田村佳士枝	看護学科	准教授	小児医療施設の看護過程にセルフケア理論を取り入れた教育介入の質的な効果検証	共著	あり		日本小児看護学会誌、64(32)、150-158	望月浩江、添田啓子、田村佳士枝、櫻井育穂、辻本健、瀧田浩平、平田美佳、近藤美和子、中田尚子
46	櫻井育穂	看護学科	准教授	入院中の子どものセルフケアを補完する親のケア能力を測定する尺度の開発	共著	あり		日本小児看護学会誌32巻Page117-184	長谷美智子、櫻井育穂、他
47	櫻井育穂	看護学科	准教授	小児医療施設の看護過程にセルフケア理論を取り入れた教育介入の質的な効果検証	共著	あり		日本小児看護学会誌32巻Page150-158	望月浩江、添田啓子、田村佳士枝、櫻井育穂、他
48	辻本 健	看護学科	助教	労働者が職場において疎外感や差別を感じる要因に関する実態調査-教育機関における労働環境改善の視点から-	共著	あり		労働安全衛生研究、16(2)、181-189.	保科寧子,鈴木幸子,渋谷えり子,内山真理,須永康代,辻本健,森元二,高木薫
49	辻本 健	看護学科	助教	小児医療施設の看護過程にセルフケア理論を取り入れた教育介入の質的な効果検証	共著	あり		日本小児看護学会誌、32,150-158.	望月浩江,添田啓子,田村佳士枝,櫻井育穂,辻本健,瀧田浩平,平田美佳,近藤美和子,中田尚子
50	辻本 健	看護学科	助教	入院中の「子どものセルフケアを補完する親のケア能力を測定する尺度」の開発	共著	あり		日本小児看護学会誌,32,177-184.	長谷美智子,櫻井育穂,辻本健,瀧田浩平,添田啓子
51	辻本 健	看護学科	助教	維持療法の期間における急性リンパ性白血病の患児の療養生活に関わる親の体験	単著	あり		自治医科大学大学院看護学研究科博士論文	辻本健
52	望月浩江	看護学科	助教	小児医療施設の看護過程にセルフケア理論を取り入れた教育介入の質的な効果検証	共著	あり		日本小児看護学会誌,32,150-158	望月浩江,添田啓子,田村佳士枝,櫻井育穂,辻本健,瀧田浩平,平田美佳,近藤美和子,中田尚子
53	瀧田浩平	看護学科	助教	網膜芽細胞腫の患児における幼児期からの義眼のセルフケアの実態と獲得過程	共著	あり		日本小児血液・がん学会雑誌、60(1)、34-41	永吉美智枝,東樹京子,高橋衣,瀧田浩平,秋山政晴,柳澤隆昭
54	瀧田浩平	看護学科	助教	入院中の「子どものセルフケアを補完する親のケア能力を測定する尺度」の開発	共著	あり		日本小児看護学会誌、32、177-184	長谷美智子、櫻井育穂、辻本健、瀧田浩平、添田啓子
55	瀧田浩平	看護学科	助教	小児医療施設の看護過程にセルフケア理論を取り入れた教育介入の質的な効果検証	共著	あり		日本小児看護学会誌、32、150-158	望月浩江,添田啓子,田村佳士枝,櫻井育穂,辻本健,瀧田浩平,平田美佳,近藤美和子,中田尚子
56	山本 英子	看護学科	准教授	就労妊婦が抱く身体活動への思いと行動	共著	あり		母性衛生.64(4).675-682	山本英子、飯岡由紀子
57	森 美紀	看護学科	准教授	妊産婦急変時の多職種連携における看護職者の体験	共著	あり		母性衛生 64(4)722-729	樋口えりか、坂上明子、森美紀
58	関美雪	看護学科	教授	乳児を持つ母親の育児リカバリー経験尺度開発に関する予備的調査	共著	あり		日本保健福祉学会誌30(1)P9-19	伊草綾香,関美雪,北島義典,延原弘章
59	関美雪	看護学科	教授	トラックドライバーにおけるワーク・エンゲイジメントと仕事の資源との関連	共著	あり		体力・栄養・免疫学会誌33(1)P43-51	島田利恵,石崎順子,黒澤恭子,関美雪
60	関美雪	看護学科	教授	介護等体験における社会福祉施設実習の意義と体験実習要項の提案	共著	あり		子ども教職研究7巻P3-13	黒澤恭子,関美雪
61	関美雪	看護学科	教授	特別支援学校の看護教員・学校看護師の活動 学校行政における連携機能について -医療的ケアの文献から-	共著	あり		子ども教職研究7巻P51-55	佐藤玲子,関美雪,上原美子,山本智春
62	石崎 順子	看護学科	准教授	大学生を対象としたオンライン型BLS講習会の教育効果に関する基礎的研究	共著	あり		蘇生、42(2)、74-79	玉井勇一、石崎順子、大久保菜穂子
63	石崎 順子	看護学科	准教授	トラックドライバーにおけるワーク・エンゲイジメントと仕事の資源との関連	共著	あり		体力・栄養・免疫学会誌33(1)、43-51	島田利恵、石崎順子、黒澤恭子、関美雪
64	柴田 亜希	看護学科	准教授	住民主体の通いの場における介護予防体操の活動継続支援の検討~活動システムモデルを概念枠組みとした質的研究~	共著	あり		日本プライマリ・ケア連合学会誌、47(1)3-11	柴田亜希、武井ますみ、鈴木明日香、高橋謙造
65	国分 貴徳	理学療法学科	准教授	Joint Instability Causes Catabolic Enzyme Production in Chondrocytes prior to Synovial Cells in Novel Non-Invasive ACL ruptured Mouse Model	共著	あり	○	Osteoarthritis and Cartilage	Takahata K, Arakawa K, Enomoto S, Usami Y, Nogi K, Saitou R, Ozone K, Takahashi H, Yoneno M, Kokubun T.
66	国分 貴徳	理学療法学科	准教授	Characteristic differences in tibial subchondral bone changes in the post-traumatic knee osteoarthritis model	共著			bioRxiv	Arakawa K, Takahata K, Usami Y, Kokubun T
67	国分 貴徳	理学療法学科	准教授	Skill-level based examination of forearm muscle activation associated with efficient wrist and finger movements during typing	共著	あり	○	International Journal of Industrial Ergonomics Volume 96, July 2023, 103471	Ito T, Matsumoto Y, Funakoshi H, Ito M, Kanemura N, Kokubun T

## 【参考資料12】

### 2023年度講評論文一覧

	教員氏名	部署(学科)	職名	名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者、発表者
68	国分 貴徳	理学療法学科	准教授	The mechanical force with the physiological movement works as a biological cue in tendon development during the postnatal phase in mice	共著			bioRxiv	Usami Y, Kokubun T
69	国分 貴徳	理学療法学科	准教授	筋収縮阻害児に対する荷重誘導による腱発達促進可能性の提示	共著			リハビリテーション医学研究財団研究論文・事例報告集2023	宇佐美優奈, 国分貴徳
70	国分 貴徳	理学療法学科	准教授	回復期病棟入院中の脳卒中者における運動単位動員様式の特徴	共著			リハビリテーション医学研究財団研究論文・事例報告集2023	伊藤実央, 伊藤貴紀, 国分貴徳
71	国分 貴徳	理学療法学科	准教授	The Dominance of Wrist and MP Joint Movement in the Horizontal and Sagittal Planes Simplifies Motor Control During Typing	共著			SSRN P32	Ito T, Kokubun T
72	国分 貴徳	理学療法学科	准教授	Sex differences in the kinematics and kinetics of the foot and plantar aponeurosis during drop-jump	共著	あり	○	Scientific Reports DOI: <a href="https://doi.org/10.1038/s41598-023-39682-6">https://doi.org/10.1038/s41598-023-39682-6</a>	Yuka Matsumoto, Naomichi Ogihara, Sachiko Kosuge, Hiroki Hanawa, Takanori Kokubun & Naohiko Kanemura
73	国分 貴徳	理学療法学科	准教授	マウス膝前十字靭帯の損傷後自己治癒過程における関節液動態とその性差の検討	共著	あり		理学療法-臨床・研究・教育 2023年30巻1号 p18-24	相澤幸夏, 齊藤陸, 高畠啓, 宇佐美優奈, 榎本沙彩, 国分貴徳
74	国分 貴徳	理学療法学科	准教授	Exploring the Role of Mechanical Force on Tendon Development in vivo Model: a Scoping Review	共著	あり	○	Developmental Dynamics	Usami Y, Iijima H, Kokubun T
75	今北 英高	理学療法学科	教授	Glucose loading for heart failure protects the myocardium and improves physical function	共著	あり		J Phys Ther Sci	Ryoichi Nishida , Jun Goto, Noboru Kamajiri, Shogo Terayama, Mimo Shirahase, Hidetaka Imagita
76	久保田章仁	理学療法学科	准教授	Seasonal changes in daily steps of community-dwelling older individuals with and without lifestyle-related diseases: A retrospective cohort study	共著	あり		JPTS Vol. 36 No. 5	Akihito Kubota, Toyohiro Hamaguchi
77	井上和久	理学療法学科	准教授	長下肢装具の有無が静的立位時の重心動揺と前顔面のアライメントに与える影響	共著	あり		支援工理学療法学会誌3巻1号、p13-21	小野塚雄一, 井上和久
78	井上和久	理学療法学科	准教授	回復期リハビリテーション病棟の脳卒中片麻痺者における長下肢装具の膝継手の違いがカットダウンに与える因子の特徴	共著	あり		支援工理学療法学会誌3巻2号、p71-78	小野塚雄一, 井上和久
79	木戸聡史	理学療法学科	准教授	Achievement of adequate nutrition contributes to maintaining the skeletal muscle area in patients with sepsis undergoing early mobilization: a retrospective observational study	共著	○	○	BMC nutrition 10(1) 32-32	Ryo Abe, Takashi Shimazui, Masayuki Sugo, Akihiro Ogawa, Michito Namekawa, Nobuya Kitamura, Satoshi Kido
80	木戸聡史	理学療法学科	准教授	Determination of Peak Oxygen Uptake in Patients with Acute Myocardial Infarction: The Role of Arterial Stiffness in Cardio—Vascular—Skeletal Muscle Coupling	共著	○	○	Journal of Clinical Medicine 13(1)	Akihiro Ogawa, Shinya Kanzaki, Yuki Ikeda, Masahiro Iwakawa, Takahiro Nakagami, Shuji Sato, Hiroshi Mikamo, Satoshi Kido, Arata Nakajima, Kazuhiro Shimizu
81	木戸聡史	理学療法学科	准教授	Study of the Responsiveness and Minimal Clinically Important Difference of the Trunk Impairment Scale in Patients With Acute Stroke	共著	○	○	Advances in Rehabilitation Science and Practice 12 1-8	Ishiwatari M, Takahara T, Hayakawa, M, Ogawa, A, Kido S
82	木戸聡史	理学療法学科	准教授	リハビリテーション介入がなされた敗血症患者におけるICU-AW残存に対する寄与因子	共著			全国自治体病院協議会雑誌 62(6) 955-959	阿部 遼, 菅生 真行, 小川 明宏, 北村 伸哉, 木戸 聡史
83	木戸聡史	理学療法学科	准教授	車椅子使用者のトイレ室内転倒検出における熱画像センサ設置位置の選定ための模擬試験	共著	○		支援工理学療法学会誌 3(1) 5-12	白銀暁, 木戸聡史, 村田健児, 宮坂智哉, 佐賀匡史, 濱口豊大, 田中敏明
84	木戸聡史	理学療法学科	准教授	日常的に利用可能な呼吸量測定機器の実現に向けた技術的検討	共著			Japan Energy & Technology Intelligence 71(8) 33-36	松本陽斗, 笠井文雄, 宮坂智哉, 木戸聡史, 村田政隆, 鴨志田麻実子
85	小栢進也	理学療法学科	准教授	A powered simple walking model explains the decline in propulsive force and hip flexion torque compensation in human gait	共著	あり	○	Scientific Reports 13(1)	Hajime Ohtsu, Kazunori Hase, Kouta Sakoda, Shinya Aoi, Shunsuke Kita, Shinya Ogaya
86	小栢進也	理学療法学科	准教授	変形性膝関節症の痛みに対する運動療法の効果	共著	なし		Precision Medicine 6(10) 71-75	小栢進也, 堀内 健太
87	小栢進也	理学療法学科	准教授	脳卒中片麻痺患者を対象とした空気圧式人工筋による足関節背屈アシスト効果の検証	共著	あり		保健医療学雑誌 14(2) 85-92	島村雅彦, 中島浩二, 鈴木佳代子, 松野隆史, 小栢進也
88	高崎 博司	理学療法学科	准教授	Predictors of 1-year Perceived Recovery, Absenteeism, and Expenses due to Low Back Pain in Workers Receiving Mechanical Diagnosis and Therapy: A Prospective Cohort Study.	単著	あり	○	Healthcare; 11(9); P.1293	Takasaki H
89	高崎 博司	理学療法学科	准教授	Research activities contributing to evidence-based practice implementation in Japanese rehabilitation professionals.	共著	あり		J Phys Ther Sci; 35(5); P.340-345	Mizuno H, Ueno T, Takasaki H
90	高崎 博司	理学療法学科	准教授	Cross-cultural Adaptation of the Pain Understanding and Confidence Questionnaire into Japanese	共著	あり		J Phys Ther Sci; 35(9); P.624-627	Takeuchi R, Sugiura S, Miki T, Chiba H, Handa Y, Takasaki H

# 【参考資料12】

## 2023年度講評論文一覧

	教員氏名	部署(学科)	職名	名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者、発表者
91	高崎 博司	理学療法学科	准教授	腰痛の際に患者は理学療法士に何を求め、どのような腰痛に対するセルフマネージメントをしているか? : 半構造化インタビューを用いた主題分析	共著	あり		徒手理学療法; 23(2); P.113-119	伊藤晴紀, 千葉弘樹, 半田裕介, 北村智也, 竹内梨都子, 高崎博司
92	高崎 博司	理学療法学科	准教授	日本語版 Lumbar Spine Instability Questionnaire の信頼性と主成分分析	共著	あり		徒手理学療法; 23(2); P.105-111	倉田健太郎, 三木貴弘, 近藤湧, 高崎博司
93	高崎 博司	理学療法学科	准教授	Developing a final format of a patient-reported outcome measure for disability in daily living due to stiff neck/shoulders, Katakori Disability Index, through internal structure assessments. 信頼性と主成分分析	単著	あり	○	Musculoskeletal Care; P.e1861	Takasaki H
94	須永 康代	理学療法学科	准教授	労働者が職場において疎外感や差別を感じる要因に関する実態調査 教育機関における労働環境改善の視点から	共著	あり		労働安全衛生研究, 16 (2), 181-189	保科寧子, 鈴木幸子, 渋谷えり子, 内山真理, 須永康代, 辻本健, 森元二, 高木薫
95	村田健児	理学療法学科	助教	Clinical utility of markerless motion capture for kinematic evaluation of sit-to-stand during 30 s-CST at one year post total knee arthroplasty: a retrospective study	共著	あり	○	BMC musculoskeletal disorders 24(1) 254-254	Katsuya Onitsuka, Keisuke Kubota, Moeka Yokoyama, Taku Miyazawa, Toyohiro Hamaguchi, Hiroto Taniguchi, Naohiro Usuki, Satoshi Miyamoto, Ken Okazaki, Kenji Murata, Naohiko Kanemura
96	村田健児	理学療法学科	助教	Mild treadmill exercise inhibits cartilage degeneration via macrophages in an osteoarthritis mouse model	共著	あり		Osteoarthritis and Cartilage Open 5(2) 100359-100359	Yuichiro Oka, Kenji Murata, Kaichi Ozone, Yuki Minegishi, Takuma Kano, Naoki Shimada, Naohiko Kanemura
97	村田健児	理学療法学科	助教	The effect of orthosis management on joint instability in knee joint disease: A systematic review	共著	あり	○	Prosthetics Orthotics International	Kenji Murata, Takuma Sakakida, Sora Kawabata, Moeka Yokoyama, Yuri Morishita, Shunsuke Kita, Keisuke Kubota, Takuma Kano, Takuma Kojima, Hidenobu Terada, Chiharu Takasu, Naohiko Kanemura
98	村田健児	理学療法学科	助教	The infrapatellar fat pad contributes to spontaneous healing after complete anterior cruciate ligament injury Experimental Biology and Medicine.	共著	あり	○	Experimental Biology and Medicine	Kano Takuma, Minegishi Yuki, Terada Hidenobu, Takasu Chiharu, Kojima Takuma, Oka Yuichiro, Kawabata Sora, Shimada Naoki, Morishita Yuri, Murata Kenji, Kanemura Naohiko
99	村田健児	理学療法学科	助教	ラット前十字韌帯由来線維芽細胞の細胞遊走能は膝蓋下脂肪体との共培養により向上する	共著	あり		基礎理学療法学	寺田秀伸, 小島拓真, 高須千晴, 川端空, 二瓶孝太, 高柳清美, 金村尚彦, 村田健児
100	村田健児	理学療法学科	助教	Chronic Ankle Joint Instability Induces Ankle Sensorimotor Dysfunction: A Controlled Laboratory Study	共著	あり	○	The American Journal of Sports Medicine	Sora Kawabata, Kaichi Ozone, Yuki Minegishi, Yuichiro Oka, Hidenobu Terada, Takuma Kojima, Chiharu Takasu, Naohiko Kanemura, Kenji Murata
101	村田健児	理学療法学科	助教	拘縮肩患者モデルを利用した治療者間に生じる認識の相違 一関節可動域の目標設定と改善期間に着眼して-	共著	あり		理学療法一臨床・研究・教育	村田健児, 高橋建生, 那須高志, 加納拓馬, 藤原秀平, 松本拓也, 田村健太, 島田直直, 五十嵐郁弥, 上原優喜
102	村田健児	理学療法学科	助教	運動が関節軟骨に及ぼす遺伝子変化の探索と検証 -細胞膜関連因子に着眼して-	共著	あり		理学療法一臨床・研究・教育	村田健児, 川端空, 高須千晴, 眞下葵, 押田竜河, 曾根賢太, 二瓶孝太, 永田詩織, 金村尚彦
103	中村 高仁	理学療法学科	助教	Relationship between adaptability during turning and the complexity of walking before turning in older adults	共著	あり	○	J Mot Behav, 55(4), 331-340	Nakamura T, Kodama K, Sakazaki J, Higuchi T.
104	中村 高仁	理学療法学科	助教	高齢者・有疾患者における歩行中の方向転換動作特性と改善のための一考察	単著	なし		専門リハビリテーション, 21	中村高仁
105	清水 新悟	理学療法学科	助教	扁平足に対する足底挿板療法が肘屈筋に与える影響	共著	あり		日本義肢装具学会誌39(3),pp.225-228	清水新悟 桑原基宏 後藤慎 花村浩克 岩堀裕介
106	清水 新悟	理学療法学科	助教	Long-term Effects of Plantar Plate Therapy for Subtalar Joint Valgus Type for One Case Osteoarthritis of the Knee	共著	あり		Journal of Rehabilitation Practices and Research 4(1) pp1-7 JRPR, an open access journal	Shingo Shimizu Yukihiisa Katou Seiji Sabashi Kunio Ida Hirokatsu Hanamura
107	清水 新悟	理学療法学科	助教	Investigation of Impact Absorption Function of Carbon Plantar Plate for Low Arch Foot	共著	あり		Journal of Rehabilitation Practices and Research 4(1) pp1-9 JRPR, an open access journal	Shingo Shimizu Masaki KIDO Kenji KOBASHI Kazunori Sasaki Yanling Pei
108	清水 新悟	理学療法学科	助教	足根管症候群を呈した1症例に対する足底挿板療法の効果	共著	あり		PO アカデミージャーナルVol. 31, No. 4 : 199-203	清水新悟 佐橋政次 花村浩克
109	中村裕美	作業療法学科	教授	Factors influencing junior high school students' perceptions of attending school in Japan	共著	あり	○	Child and Adolescent Psychiatry and Mental Health (IF7.4)	Nakamura-Thomas H, Sano N, Maciver D

# 【参考資料12】

## 2023年度講評論文一覧

	教員氏名	部署(学科)	職名	名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始 - 終了ページ	著者、編者、発表者
110	濱口豊太	作業療法学科	教授	Efficacy of an eHealth self-management program in reducing irritable bowel syndrome symptom severity: a randomized controlled trial	共著	あり	○	Scientific Reports 14(1) 4-4	Jun Tayama, Toyohiro Hamaguchi*, Kohei Koizumi, Ryodai Yamamura, Ryo Okubo, Jun ichiro Kawahara, Kenji Inoue, Atsushi Takeoka, Shin Fukudo *共同筆頭著者
111	濱口豊太	作業療法学科	教授	【バイオフィードバック】過敏性腸症候群とバイオフィードバック	単著	なし	○	精神科 43(4) 481-487	濱口 豊太
112	濱口豊太	作業療法学科	教授	Changes in caregiving risk and motor function among older adults participating in community gatherings in Koshigaya city	共著	あり	○	The Journal of Physical Therapy Science 36 117-122	Takaya Abe, Keisuke Kubota, Takahito Nakamura, Yoshinori Kitabatake, Hiroo Furusawa, Toyohiro Hamaguchi, Naohiko Kanemura, Yayoi Amakusa
113	濱口豊太	作業療法学科	教授	車椅子使用者のトイレ室内転倒検出における熱画像センサ設置位置の選定ための模擬試験	共著	あり	○	支援工理学療法学会誌 3(1) 5-12	白銀暁, 木戸聡史, 村田健児, 宮坂智哉, 佐賀匡史, 濱口豊太, 田中敏明
114	濱口豊太	作業療法学科	教授	Development of an Application That Implements a Brain-Computer Interface to an Upper-Limb Motor Assistance Robot to Facilitate Active Exercise in Patients: A Feasibility Study	共著	あり	○	APPLIED SCIENCES-BASEL 13(17) 1-9	Tadashi Yamamoto, Toyohiro Hamaguchi
115	濱口豊太	作業療法学科	教授	Displaced center of pressure on the treated side in individuals with essential tremor after radiofrequency ablation: A longitudinal case-control study	共著	あり	○	Frontiers in Neurology 14, 10.3389/fneur.2023.118208	Atsuya Sato, Takaomi Taira, Kazuya Kitada, Toshiaki Ando, Toyohiro Hamaguchi, Michiko Konno, Yoshinori Kitabatake, Toshiyuki Ishioka
116	濱口豊太	作業療法学科	教授	Prevalence of Irritable Bowel Syndrome in Japan, China, and South Korea: An International Cross-sectional Study	共著	あり	○	Journal of Neurogastroenterology and Motility 29(2) 229-237	Atsushi Takeoka, Takuya Kimura, Shintaro Hara, Toyohiro Hamaguchi, Shin Fukudo, Jun Tayama
117	濱口豊太	作業療法学科	教授	Clinical utility of markerless motion capture for kinematic evaluation of sit-to-stand during 30 s-CST at one year post total knee arthroplasty: a retrospective study.	共著	あり	○	BMC musculoskeletal disorders 24(1) 254-254	Katsuya Onitsuka, Keisuke Kubota, Moeka Yokoyama, Taku Miyazawa, Toyohiro Hamaguchi, Hiroto Taniguchi, Naohiro Usuki, Satoshi Miyamoto, Ken Okazaki, Kenji Murata, Naohiko Kanemura
118	松尾彰久	作業療法学科	准教授	作業療法100年の歴史と今後の展望～計量テキスト分析による探索的検討	単著	あり		作業療法学芸雑誌 1(1) 14-25	松尾彰久
119	松尾彰久	作業療法学科	准教授	社会モデルから考える障害のある学生支援	単著	あり		作業療法学芸雑誌 1(1) 34-45	松尾彰久
120	鈴木 貴子	作業療法学科	准教授	Baseline Variability Affects N-of-1 Intervention Effect: Simulation and Field Studies	共著	あり	○	Journal of Personalized Medicine 13(5)	Makoto Suzuki, Satoshi Tanaka, Kazuo Saito, Kilchoon Cho, Naoki Iso, Takuhiro Okabe, Takako Suzuki andJunichi Yamamoto
121	小泉 浩平	作業療法学科	助教	Efficacy of an eHealth self-management program in reducing irritable bowel syndrome symptom severity: a randomized controlled trial	共著	あり	○	Scientific Reports 14(1) 4	Jun Tayama, Toyohiro Hamaguchi, Kohei Koizumi, Ryodai Yamamura, Ryo Okubo, Jun ichiro Kawahara, Kenji Inoue, Atsushi Takeoka, Shin Fukudo
122	河村ちひろ	社会福祉子ども学科	教授	「もしも」のときの医療・ケアにおける話し合い行動意図尺度：Web調査による信頼性と妥当性の検討	共著	あり		Palliative Care Research ; 18(4) ; P. 213-223	山口乃生子,山岸直子,會田みゆき,畔上光代,河村ちひろ,星野純子,浅川泰宏,佐瀬恵理子,島田 千穂
123	大塚 斉	社会福祉子ども学科	教授	家族対応心理職員の配置と保護者支援	単著	あり		児童福祉研究2023 No. 29 21-27	大塚斉
124	大塚 斉	社会福祉子ども学科	教授	児童養護施設における子どもと家族への支援	単著	あり		家族心理学年報41 34-44	大塚斉
125	大塚 斉	社会福祉子ども学科	教授	児童養護施設における心理職による家族支援のための教育研修プログラムの構築と施行	共著	あり		大正大学カウンセリング研究所紀要 第46号 47-58	田附あえか・大塚斉
126	嵩末 憲子	社会福祉子ども学科	准教授	医療・介護連携推進のPDCAサイクルにF-SOAIでイノベーションを	共著	なし		月刊ケアマネジメント、34(5)、31-35	嵩末憲子・小嶋章吾 監修 F-SOAIを記録のスタンダードに 第7回/公益社団
127	嵩末 憲子	社会福祉子ども学科	准教授	F-SOAIによりミクロ・メゾ・マクロにおける自律的なPDCAサイクルの好循環を	共著	なし		月刊ケアマネジメント、34(6)、33-37	嵩末憲子・小嶋章吾 監修 F-SOAIを記録のスタンダードに 第8回/社会福祉
128	嵩末 憲子	社会福祉子ども学科	准教授	F-SOAIのミクロ・メゾ・マクロレベルでの導入・普及の鍵～地域での研修と記録システムへの搭載～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、34(7)、35-38	嵩末憲子・小嶋章吾 監修 F-SOAIを記録のスタンダードに 第9回/社会福祉
129	嵩末 憲子	社会福祉子ども学科	准教授	自治体の特徴に基づくF-SOAIの活用推進～行政と複数リーダーによる協働～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、34(8)、33-37	嵩末憲子・小嶋章吾 監修 F-SOAIを記録のスタンダードに 第10回/渋谷区福
130	嵩末 憲子	社会福祉子ども学科	准教授	BCP等の諸課題解決に資するF-SOAIのミクロ・メゾ・マクロレベルの展開に向けて	共著	なし		月刊ケアマネジメント、34(9)、40-43	嵩末憲子・小嶋章吾 監修 F-SOAIを記録のスタンダードに 第11回/メディアカ

# 【参考資料12】

## 2023年度講評論文一覧

	教員氏名	部署(学科)	職名	名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者、発表者
131	嵩末 憲子	社会福祉子ども学科	准教授	F-SOAIPを転機として未来を変えるアクションを～法人化により協創的イノベーションリサーチができる社会を展望～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、34(10)、33-37	嵩末憲子・小嶋章吾 監修 F-SOAIPを記録のスタンダードに 第12回ノ一般社団
132	嵩末 憲子	社会福祉子ども学科	准教授	【総論】看護記録における経過記録の標準化に向けて	共著	なし		ナーシングビジネス、17(10)、82-85	嵩末憲子・小嶋章吾 監修 看護実践のPDCAサイクルと多職種連携の促進を期
133	嵩末 憲子	社会福祉子ども学科	准教授	自治体の職能団体がF-SOAIP導入・普及をマイクロ・メゾ・マクロレベルで支える～地域の財産として「F-SOAIPワークシート」で継続的実践変容を～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、34(11)、34-38	嵩末憲子・小嶋章吾 監修 F-SOAIPを記録のスタンダードに 第13回ノえびなケ
134	嵩末 憲子	社会福祉子ども学科	准教授	重層的支援体制整備事業における経過記録法のスタンダード化～EBPMに資するF-SOAIPのデータ活用をめざしたシステムの提言～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、34(12)、38-42	嵩末憲子・小嶋章吾 監修 F-SOAIPを記録のスタンダードに 第14回ノ幸手市地
135	嵩末 憲子	社会福祉子ども学科	准教授	病院看護部におけるF-SOAIP導入のモデル事例について	共著	なし		ナーシングビジネス、17(12)、78-84	嵩末憲子・小嶋章吾 監修 看護実践のPDCAサイクルと多職種連携の促進を期
136	嵩末 憲子	社会福祉子ども学科	准教授	F-SOAIPで協創的イノベーションを～マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるケアの実践変容を目指して～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、35(1)、35-39	嵩末憲子・小嶋章吾 監修 F-SOAIPでケアの実践変容を 第1回ノ公益社団法人
137	嵩末 憲子	社会福祉子ども学科	准教授	DX時代の重層的支援体制整備事業にてPDCAサイクルを促進するF-SOAIP～EBPMをめざして	共著	なし		自治実務セミナー、738、32-37	嵩末憲子・小嶋章吾 監修 自治体実務サポート 福祉 DX時代の重層的支援体制
138	嵩末 憲子	社会福祉子ども学科	准教授	F-SOAIPの実践継続が主体的なキャリアを紡ぐ～優先すべき課題(BCP)への活用は急務～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、35(2)、33-37	嵩末憲子・小嶋章吾 監修 F-SOAIPでケアの実践変容を 第2回 F-SOAIPでキャ
139	嵩末 憲子	社会福祉子ども学科	准教授	行政・病院記録システム標準化に向けたF-SOAIP搭載の提言～重層的支援体制整備事業を見据えた東京からの発信～	共著	なし		自治実務セミナー、739、32-38	嵩末憲子・小嶋章吾 監修 自治体実務サポート 福祉 DX時代の重層的支援体制
140	嵩末 憲子	社会福祉子ども学科	准教授	F-SOAIPによる広域的な好事例の全国展開を～医療福祉生協連でのBCPや研修に着目して～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、35(3)、34-37	嵩末憲子・小嶋章吾 監修 F-SOAIPでケアの実践変容を 第3回ノ鹿児島県医療
141	嵩末 憲子	社会福祉子ども学科	准教授	F-SOAIP導入好事例の協創的座談会(東京版)をイノベーションの契機に～真のDX・重層的支援体制整備事業推進に向けて鍵を握る都・システムベンダー～	共著	なし		自治実務セミナー、740、24-31	嵩末憲子・小嶋章吾 監修 自治体実務サポート 福祉 DX時代の重層的支援体制
142	嵩末 憲子	社会福祉子ども学科	准教授	F-SOAIPによる協創的イノベーションの好循環事例～ロジックモデルの活用で「理想を現実」に～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、35(4)、36-39	嵩末憲子・小嶋章吾 監修 F-SOAIPでケアの実践変容を 第4回ノリハビリ型デ
143	嵩末 憲子	社会福祉子ども学科	准教授	虐待対応のAI化に向けF-SOAIPをシステム要件へ～多機関多職種の実践変容を期待して～	共著	なし		自治実務セミナー、742、40-46	嵩末憲子・小嶋章吾 監修 自治体実務サポート 福祉 DX時代の重層的支援体制
144	佃 志津子	社会福祉子ども学科	准教授	高等学校におけるがん教育の効果の検討 ー自由記述の分析からー	単著	なし		子ども・教職研究 第7巻 pp14-21	佃志津子
145	佃 志津子	社会福祉子ども学科	准教授	高等学校におけるがん教育実施上の課題とニーズ	単著	なし		子ども・教職研究 第7巻 pp22-30	佃志津子
146	保科 寧子	社会福祉子ども学科	准教授	労働者が職場において疎外感や差別を感じる要因に関する実態調査ー教育機関における労働環境改善の視点からー	共著	あり		労働安全衛生研究、16巻(2) P181-189	保科 寧子、鈴木 幸子、渋谷 えり子、内山 真理、須永 康代、辻本 健、森 元二、高木 薫
147	岡 桃子	社会福祉子ども学科	准教授	ソーシャルワーク拠点としての児童館に関する研究	共著	あり		実践女子大学生活科学部紀要61,pp27-41.	大澤朋子、岡桃子
148	相良 翔	社会福祉子ども学科	准教授	Continuity and change in drug treatment: Regimes of control in Japan	共著	あり	○	International Journal Of Drug Policy、116、Online	David Brewster、Sho Sagara
149	相良 翔	社会福祉子ども学科	准教授	Comparing the determinants of punitiveness in Japan and Costa Rica	共著	あり	○	International Journal of Comparative and Applied Criminal Justice、Online	Tomoya Mukai、Daniel Garcia Ramirez、Yuma Matsuki、Yuji Takenaka、Sho Sagara、Eiichiro Watamura
150	相良 翔	社会福祉子ども学科	准教授	Mapping desistance research: a systematic quantitative literature review from 2011 to 2020	共著	あり	○	Journal of Offender Rehabilitation、Online	Sho Sagara、Masahiro Suzuki、Noriko Hashiba、Nozomi Yamawaki、Yuji Takenaka
151	相良 翔	社会福祉子ども学科	准教授	ナラティブ犯罪学の展開と動向	単著	なし		犯罪社会学研究、48、91-95	相良 翔
152	越智 幸一	社会福祉子ども学科	教授	子どもの虐待・不適切な保育の未然防止と保育の実践 ーガイドランを保育の実践に生かすー	共著	あり		教育文化研究(第16号)、29頁-39頁	實川 雅子、越智 幸一
153	牧野 由理	社会福祉子ども学科	准教授	文部省発行教育掛図《博物図》と《家庭用教育掛図》の研究ー加藤竹齋・長谷川竹葉・服部雪齋・最上孝吉・久保弘道・榊原芳野の関係を巡ってー	単著	あり		国立科学博物館研究報告E類(理工学)；46；P.1-15.	牧野 由理
154	牧野 由理	社会福祉子ども学科	准教授	戦前の図画・手工に関する教育掛図研究ー文部省および東京集画堂発行掛図を対象としてー	単著	あり		美術教育学(美術科教育学会誌)；44；P.251-262.	牧野 由理
155	伊藤 知子	社会福祉子ども学科	准教授	遠隔授業による動画制作に期待できる「協働的な学び」 ー新型コロナウイルス感染症(COVID-19)流行時の対応と授業計画に着目してー	単著	あり		子ども・教職研究	伊藤 知子
156	森田 満理子	社会福祉子ども学科	准教授	保育の教材研究と立案を体験的に学ぶ授業モデルの構築	単著	なし		子ども・教職研究、7、56-60	森田 満理子、編集：埼玉県立大学保健医療福祉学部教職科目担当者会

# 【参考資料12】

## 2023年度講評論文一覧

	教員氏名	部署(学科)	職名	名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始 - 終了ページ	著者、編者、発表者
157	北畠義典	健康開発学科	教授	乳児を持つ母親の育児リカバリー経験尺度開発に関する予備的調査	共著	あり		日本保健福祉学会誌, 30(1), 9-19.	伊草綾香, 関美雪, 北畠義典, 延原弘章
158	北畠義典	健康開発学科	教授	地域在住高齢者における腰痛と身体活動, 座位時間との関連 横断研究	共著	あり		日本公衆衛生雑誌, 70(10), 690-698.	中村陸美, 佐藤慎一郎, 根本裕太, 山田卓也, 武田典子, 丸尾和司, 福田吉治, 北畠義典, 荒尾孝.
159	北畠義典	健康開発学科	教授	ロコモティブシンドロームとプレゼンティーズムとの関連 病院職員を対象とした横断研究	共著	あり		理学療法学, 50(6), 239-245.	岸本俊樹, 北畠義典, 石橋英明
160	内山 真理	健康開発学科	准教授	労働者が職場において疎外感や差別を感じる要因に関する実態調査-教育機関における労働環境改善の視点から	共著	あり		労働安全衛生研究, 16(2), 181-189	保科寧子, 鈴木幸子, 渋谷えり子, 内山真理, 須永康代, 辻本健, 森元二, 高木薫
161	廣渡祐史	健康開発学科	教授	Development of blood collection tubes for glucose measurement using adenosine 3-phosphate and sodium fluoride as glycolytic inhibitors.	共著	あり	○	Ann Clin Biochem. 2023 Aug 30;45632231194829.	Kume Y*, Hirowatari Y, Kurano M, Yatomi Y, Matsushita M.
162	廣渡祐史	健康開発学科	教授	Measurement of cholesterol levels of lipoprotein subclasses in human serum using anion-exchange high-performance liquid chromatography with a linear concentration gradient of sodium perchlorate.	共著	あり	○	Ann Clin Biochem. 2023 Jun 2;45632231179082.	Ito R, Manita D, Yanai H, Hirowatari Y*.
163	廣渡祐史	健康開発学科	教授	Evaluation of the two-point calibration bromocresol green method, showing reduced deviation from the bromocresol purple method in sera from patients with hypoalbuminemia.	共著	あり	○	Ann Clin Biochem. 2023 Apr 15;45632231170554.	Iwasaki T*, Nakajima K, Hirowatari Y, Matsushita M.
164	廣渡祐史	健康開発学科	教授	Postprandial Fatty Acid Metabolism with Coconut Oil in Young Females: A Randomized, Single-blind, Cross-over Trial.	共著	あり	○	Am J Clin Nutr. 2023 Mar 20;S0002-9165(23)46271-5.	Furuta Y*, Manita D, Hirowatari Y, Shoji K, Ogata H, Tanaka A, Kawabata T.
165	有竹清夏	健康開発学科	教授	The effect of nonrestorative sleep on incident hypertension 1-2 years later among middle-aged Hispanics/Latinos.	共著	あり		BMC public health 23(1) 1456-1456	Saitoh K, Yoshiike T, Kaneko Y, Utsumi T, Matsui K, Nagao K, Kawamura A, Otsuki R, Otsuka Y, Aritake-Okada S, Kaneita Y, Kadotani H, Kuriyama K, Suzuki M
166	有竹清夏	健康開発学科	教授	Subjective sleep onset latency is influenced by sleep structure and body heat loss in human subjects.	共著	あり		J Sleep Res. 2024 Jan 14:e14122. doi: 10.1111/jsr.14122.	Iijima R, Kadooka A, Sugawara K, Fushimi M, Hosoe M, Aritake-Okada S
167	有竹清夏	健康開発学科	教授	身体運動が若年成人女性の熱放散と睡眠に与える効果.	共著	あり		日本女性心身医学, in press	伏見もも, 飯島竜星, 木山水月, 久保川優加, 菅原このみ, 高倉麻里子, 野口史織, 金野倫子, 有竹(岡田)清夏
168	有竹清夏	健康開発学科	教授	眠りと健康: 1.眠りのしくみを知ろう 2.眠りのセルフチェックと快眠のコツ 3.睡眠問題への理解と快眠のコツ 4.加齢と眠り 睡眠休養感を高めましょう	単著	なし		機関誌「栃木の国保」 1. P22-24, 2. p18-20, 3. p18-19, 4. p18-20	有竹清夏
169	佐藤玲子	健康開発学科	准教授	乳歯萌出期にある乳児の歯ブラシ導入について-生後5か月児と11か月児の事例研究-	共著	なし		地域ケアリング25(8)51-55, 2023.	佐藤麻音, 佐藤玲子, 吉田隆
170	佐藤玲子	健康開発学科	准教授	特別支援学校の看護教員・学校看護師の活動と学校行政における連携機能について -医療的ケアの文献から-	共著	なし		子ども・教職研究7, 51	佐藤玲子, 関美雪, 上原美子, 山本千春
171	柳澤 伸彰	健康開発学科	准教授	歯科衛生士と歯科衛生士養成教育に対する患者の認識度	共著	あり		全国大学歯科衛生士教育協議会雑誌, 13号, 13-21	吉田 隆、後藤翔華、塚田帆風、佐古 亮、柳澤伸彰、杉戸博記、古澤成博
172	戸田 花奈子	健康開発学科	助教	Oral Health Instruction Improves glycaemic Control as Minimally Invasive Periodontal Therapy in Patients with Diabetes: A Systematic Review	共著	あり	○	Research & Reviews: Journal of Dental Sciences; 10(7); 1-15	Kanako Toda, Koji Mizutani, Kayoko Shinada
173	大木 いずみ	健康開発学科	教授	新型コロナウイルス感染ががん診療に及ぼす影響: 栃木県18施設のがん登録を用いた検討	共著	あり		日本公衆衛生雑誌; 70 (9) ; p. 564-571	大木いずみ, 藤田伸
174	大木 いずみ	健康開発学科	教授	川口市の高齢者施設対象のCOVID-19に関する研修実施報告: 全国自治体との比較	共著	あり		日本公衆衛生雑誌; 70 (10) ; p. 718-726	中山 文子、岡本 浩二、大木 いずみ
175	大木 いずみ	健康開発学科	教授	Subsite-specific trends in mid- and long-term survival for head and neck cancer patients in Japan: A population-based study	共著	あり	○	Cancer Science; 115(2); 623-634.	Tsuge H, Kawakita D, Taniyama Y, Oze I, Koyanagi YN, Hori M, Nakata K, Sugiyama H, Miyashiro I, Oki I, Nishino Y, Katanoda K, Ito Y, Shibata A, Matsuda T, Iwasaki S, Matsuo K, Ito H.
176	若林チヒロ	健康開発学科	教授	Characterizing changes in drug use behaviour following supply shortages of 5-MeO-DIPT, alkyl nitrites and new psychoactive substances among men living with HIV in Japan	共著	あり	○	International Journal of Drug Policy Volume 118, August 2023, 104080	Kanna Hayashi, Chihiro Wakabayashi, Yuzuru Ikushima, Masayoshi Tarui
177	若林チヒロ	健康開発学科	教授	Associations between Drug Use and Sexual Risk Behaviours among Men Who Have Sex with Men in Japan: Results from the Cross-Sectional LASH Study	共著	あり	○	International Journal of Environmental Research and Public Health	Takeshi Miwa, Masazumi Yamaguchi , Tomoko Ohtsuki , Gaku Oshima, Chihiro Wakabayashi, Sachiko Nosaka, Kanna Hayashi, Yuzuru Ikushima and Masayoshi Tarui

# 【参考資料12】

## 2023年度講評論文一覧

	教員氏名	部署(学科)	職名	名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始 - 終了ページ	著者、編者、発表者
178	延原弘章	健康開発学科	教授	乳児を持つ母親の育児リカバリー経験尺度開発に関する予備的調査	共著	あり		日本保健福祉学会誌; 30(1); 9-19	伊草綾香、関美雪、北島義典、延原弘章
179	岡田茂治	健康開発学科	准教授	A prediction of late cervical lymph node metastasis by ultrasound images of tongue cancer using deep learning method	共著	あり	○	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology, Volume 36, Issue 3, Pages 295-299	Koichi Kadoya, Kazuhiro Yagihara, Junichi Ishii, Miki Katsurano, Aayataka Ishikawa, Yusoon Kim, Mari Shibata, Shigeharu Okada, Kei Sakamoto, Jun Sumino
180	岡田茂治	健康開発学科	准教授	教育シンポジウム：カリキュラム改訂後、今後求められる臨床検査技師教育および卒業教育・資格、～生殖補助医療（ART）科目の必要性～	単著	あり		臨床検査学教育 Vol.16, No.1 p.45 ～ 50	岡田茂治
181	新井 恵	健康開発学科	准教授	統計の基礎を学ぶ 第1回 統計学の基本的な考え方から統計学的検定方法の選択まで	共著	なし		日本歯科衛生学会雑誌; 18 (2) ; P.14-25	野村義明、松田悠平、新井恵、伊藤奏、藤原奈津美、西村留美、白部麻樹、野口有紀、森下志穂、畠中能子
182	吉田 隆	健康開発学科	教授	歯科衛生士と歯科衛生士養成教育に対する患者の認識度	共著	あり		全国大学歯科衛生士教育協議会雑誌、13、13-21	吉田隆、後藤翔華、塚田帆風、佐古亮、柳澤伸彰、杉戸博紀、古澤成博
183	本間三恵子	健康開発学科	准教授	著者解題・総合討論—特集 合評会「病いの会話 ネパールで糖尿病を共に生きる」	共著	なし		立命館生存学研究, 7, 53-81,	美馬 達哉, 中村 友香, 高橋 花子, 本間 三恵子, 柏崎 郁子
184	白岩 祐子	健康開発学科	准教授	遺族の死後世界観と解剖や臓器提供に対する態度：死後世界観尺度（2人称）を用いた検討	単著	あり		心理学研究, 94, 413-422.	白岩祐子
185	白岩 祐子	健康開発学科	准教授	霊魂観念と墓参・お供え：大切な人と死別した遺族を対象とする調査	単著	あり		宗教／スピリチュアリティ心理学研究, 2, 7-13.	白岩祐子
186	江良 裕子	健康開発学科	助教	A novel thermoresponsive hydrogel composite controlled by infrared irradiation	共著	あり	○	Molecular Crystals and Liquid Crystals ; 763(1) ; P.73-79	Shigeaki Abe, Mahdis Nesabi, Sirus Safaee, Eri Seitoku, Yuya Yato, Atsushi Hyono, Yuko Era, Ko Nakanishi, Mariko Nakamura, Teruo Kusaka, Alireza Valanezhad, Tomoya Takada & Ikuya Watanabe
187	金村 尚彦	大学院 理学療法学科	教授	Chronic Ankle Joint Instability Induces Ankle Sensorimotor Dysfunction: A Controlled Laboratory Study	共著	あり	○	The American Journal of Sports Medicine 10.1177/036354652312174	Sora Kawabata, Kaichi Ozone, Yuki Minegishi, Yuichiro Oka, Hidenobu Terada, Chiharu Takasu, Takuma Kojima, Takuma Kano, Naohiko Kanemura, Kenji Murata
188	金村 尚彦	大学院 理学療法学科	教授	The infrapatellar fat pad contributes to spontaneous healing after complete anterior cruciate ligament injury.	共著	あり	○	Experimental biology and medicine 248 (20) 1895-1904	Takuma Kano Yuki Minegish Hidenobu Terada Chiharu Takasu Takuma Kojima Yuichiro Oka Sora Kawabata Naoki Shimada Yuri Morishita Kenji Murata Naohiko Kanemura
189	金村 尚彦	大学院 理学療法学科	教授	Exploring the modification factors of exercise therapy on biomechanical load in patients with knee osteoarthritis: a systematic review and meta-analysis	共著	あり	○	Clinical Rheumatology 42 (7) 1737-1752	Moeka Yokoyama, Hirota Iijima, Keisuke Kubota, Naohiko Kanemura
190	金村 尚彦	大学院 理学療法学科	教授	Sex differences in the kinematics and kinetics of the foot and plantar aponeurosis during drop-jump	共著	あり	○	Scientific Reports 13(1) 10.1038/s41598-023-	Yuka Matsumoto, Naomichi Ogihara, Sachiko Kosuge, Hiroki Hanawa, Takanori Kokubun, Naohiko Kanemura
191	金村 尚彦	大学院 理学療法学科	教授	Mild treadmill exercise inhibits cartilage degeneration via macrophages in an osteoarthritis mouse model	共著	あり	○	Osteoarthritis and Cartilage Open 5(2)100359, https://doi.org/10.1016/j.ocarto.2023.100359	Yuichiro Oka, Kenji Murata, Kaichi Ozone, Yuki Minegishi, Takuma Kano, Naoki Shimada, Naohiko Kanemura
192	金村 尚彦	大学院 理学療法学科	教授	Muscle co-activation in the elderly contributes to control of hip and knee joint torque and endpoint force	共著	あり	○	Scientific Reports 13(1) 10.1038/s41598-023-34208-6	Keisuke Kubota, Moeka Yokoyama, Hiroki Hanawa, Taku Miyazawa, Keisuke Hirata, Katsuya Onitsuka, Tsutomu Fujino, Naohiko Kanemura
193	金村 尚彦	大学院 理学療法学科	教授	【理学療法における橋渡し研究と臨床実践の融合】運動器疾患患者の理学療法における橋渡し研究と臨床展開の課題	共著	なし	○	理学療法 41 (1) 12-22	金村 尚彦, 久保田 圭祐, 鬼塚 勝哉
194	金村 尚彦	大学院 理学療法学科	教授	メカニカルストレスと理学療法—特集 運動器理学療法をどう捉えるか：統合的戦略で自らの思考の枠を乗り越える	共著	なし	○	理学療法ジャーナル 57(9) 1057-1063	金村 尚彦, 久保田 圭祐, 加納 拓馬, 森下 佑里, 岡 優一郎, 小菅根 海知, 峯岸 雄基, 村田 健児
195	金村 尚彦	大学院 理学療法学科	教授	変形性関節症に対する予防リハビリテーションの展望	共著	なし	○	(株)北隆館 38(4) 367-369	村田 健児, 金村 尚彦, 川端 空, 高須 千晴
196	飯岡由紀子	研究開発センター	教授	更年期障害患者への自律訓練法	単著	なし		日本自律訓練学会 42巻 2号	飯岡由紀子
197	飯岡由紀子	研究開発センター	教授	エストロゲンレベル低下が更年期女性と産褥女性の愁訴に与える影響の比較	共著	あり		千葉県産科婦人科医学会雑誌 17巻1号、8-14	田島恵、白橋真由、橋本志歩、杉山重里、飯岡由紀子、小川真里子、高松潔
198	飯岡由紀子	研究開発センター	教授	更年期障害の患者に対する看護カウンセリングの効果の検討	共著	あり		日本女性医学学会誌 31巻、265-274	飯岡由紀子、小川真里子、高松潔

	教員氏名	部署(学科)	職名	名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始 - 終了ページ	著者、編者、発表者
199	飯岡由紀子	研究開発センター	教授	看護職の経験学習を促進するリフレクションマッププログラム (Reflection-Map Program: RMP) の開発と効果の検証	共著	あり		日本看護科学学会 43巻、676-688	飯岡由紀子, 渡邊直美, 田代真理, 高山裕子, 榎本英子, 廣田千穂, 木原円子, 遠藤まりえ
200	飯岡由紀子	研究開発センター	教授	就労妊婦が抱く身体活動への思いと行動	共著	あり		母性衛生64巻4号、675-682	山本英子、飯岡由紀子
201	飯岡由紀子	研究開発センター	教授	潜在性鉄欠乏への加療が奏功した思春期月経症候群の1例	共著	あり		女性心身医学28巻3号、357-361	白橋真由、小川真里子、谷村史人、柏崎奏絵、樋口敦彦、橋本志歩、飯岡由紀子、高松潔
202	久保田圭祐	研究開発センター	特任助教	Muscle co-activation in the elderly contributes to control of hip and knee joint torque and endpoint force	共著	あり	○	Scientific Reports 13 (1)	Keisuke Kubota, Moeka Yokoyama, Hiroki Hanawa, Taku Miyazawa, Keisuke Hirata, Katsuya Onitsuka, Tsutomu Fujino, Naohiko Kanemura
203	久保田圭祐	研究開発センター	特任助教	Role of raising the upper limb of the non-rising side when performing rising movement from bed	共著	あり	○	Scientific Reports 13 (1)	Keisuke Hirata, Hiroki Hanawa, Taku Miyazawa, Keisuke Kubota, Moeka Yokoyama
204	久保田圭祐	研究開発センター	特任助教	The effect of orthosis management on joint instability in knee joint disease: A systematic review	共著	あり	○	Prosthetics and Orthotics International	Kenji Murata, Takuma Sakakida, Sora Kawabata, Moeka Yokoyama, Yuri Morishita, Shunsuke Kita, Keisuke Kubota, Takuma Kano, Takuma Kojima, Hidenobu Terada, Chiharu Takasu, Naohiko Kanemura
205	久保田圭祐	研究開発センター	特任助教	Effects of sampling frequency and interpolation preprocessing on inter- and intra-study comparability of stabilometric variables	共著	あり	○	Biomedical Signal Processing and Control 90	Moeka Yokoyama, Taku Miyazawa, Hiroki Hanawa, Keisuke Hirata, Hikaru Yokoyama, Keisuke Kubota, Tsutomu Fujino, Naohiko Kanemura Haruka Kaneko, Arepati Adili, Muneaki Ishijima
206	久保田圭祐	研究開発センター	特任助教	Changes in caregiving risk and motor function among older adults participating in community gatherings in Koshigaya city	共著	あり		Journal of Physical Therapy Science 36(3)	Takaya Abe, Keisuke Kubota, Takahito Nakamura, Yoshinori Kitabatake, Hiroo Furusawa, Toyohiro Hamaguchi, Naohiko Kanemura, Yayoi Amakusa
207	久保田圭祐	研究開発センター	特任助教	特集 運動器理学療法をどう捉えるか-統合的戦略で自らの枠を乗り越える メカニカルストレスと理学療法	共著			理学療法ジャーナル 57(9)	金村尚彦, 久保田圭祐, 加納拓馬, 森下佑里, 岡優一郎, 小曾根海知, 峯岸雄基, 村田健児
208	久保田圭祐	研究開発センター	特任助教	運動器疾患患者の理学療法における橋渡し研究と臨床展開の課題	共著			理学療法 41(1)	金村尚彦, 久保田圭祐, 鬼塚勝哉